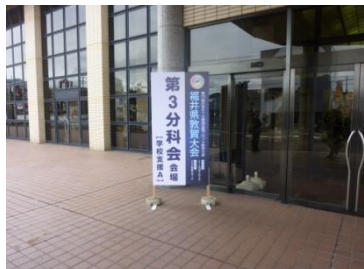


◆第3分科会 [学校支援A]

(報告者：理事 東 秀和)

会場 プラザ萬象（大ホール）



会場入り口



研究発表



パネルディスカッション

発表1 岐阜県下呂市立萩原北中学校PTA

「笑顔と感謝の気持ちがあふれる学校」づくりのための学校支援のあり方

発表2 福井県福井市麻生津幼・小学校PTA

いきいき あそうづっ子のために ～地域・世代をつなぐPTA活動を目指して～

分科会課題「PTAによる学校支援のあり方を考えよう」

助言者 吉弘 淳一氏（福井県立大学大学院看護福祉研究科准教授）

コーディネーター 花木 秀実氏（敦賀市教育委員会新採用指導教員）

パネリスト 細江 和彦氏（岐阜県下呂市立萩原北中学校PTA）

〃 高瀬 義浩氏（福井県福井市麻生津幼・小学校PTA）

〃 木村 正俊氏（福井県PTA連合会元会長）

発表1、萩原北中学校の発表は、学校の教育目標でもある「希望、勇気、感動」のもと、
（1）命の尊さについて考えよう（2）笑顔、感謝の気持ちに満ちあふれた学校生活ができる環境づくりに努めよう（3）もっと学校に出かけようの3点の実践内容で1年間を通じてPTA活動を行っているとの発表でした。

発表2、麻生津幼・小学校の発表は、地域、世代を網の目のようにつなぐために、誰でも気軽に参加できる企画・方法を工夫し、家庭・地域・学校が「子供達のために」という同じ思いで、同じ方向を目指すことが重要だとの発表がありました。

パネルディスカッションでは、「学校支援にどう取り組んでいるか」「今後の支援のあり方」についての議論でした。

分科会に参加して、学校・保護者・地域とのつながりが重要であり、子供達主体で行うPTA活動が大事だと、あらためて考えさせられた分科会でした。